

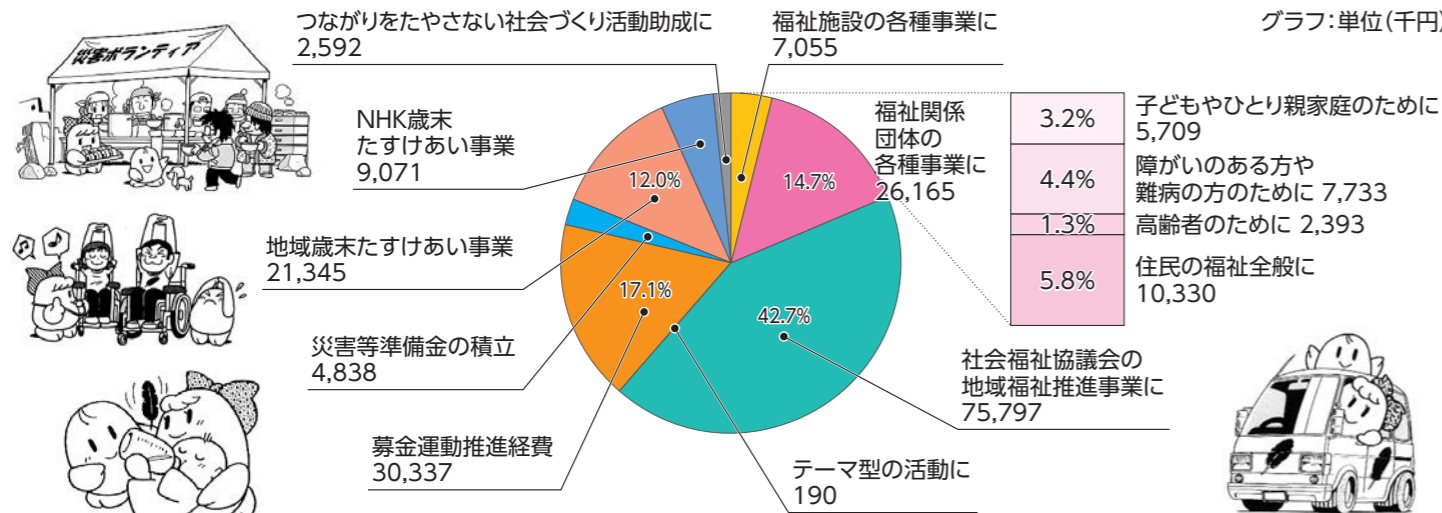
令和5年度共同募金助成結果報告

昨年度の共同募金は、県民の皆様のあたたかいご支援とご協力により、
募金総額は **1億6,196万4,216円** となりました。

ここに厚くお礼申し上げますとともに、助成結果についてご報告させていただきます。
(※募金総額との差額は繰越金等を充当しています)。



福祉施設への助成 7,055千円 障がい者の自立のための社会訓練、地域との交流事業などに	福祉団体への助成 26,165千円 障がいのある方の社会参加促進支援やボランティアとの交流会、高齢者の生きがいづくり、保育・子育て相談、難病相談などに	社会福祉協議会への助成 75,797千円 ふれあいサロンの運営や福祉マップの作成、地域見守り、移動困難者への生活支援サービス、地域ボランティア活性化、地域子育て支援などに
テーマ型の活動への助成 190千円 地域や社会の解決したい課題を明確化して行う募金活動(テーマ型)により、豪雪地域の高齢者宅の除雪や、地域食堂の起ち上げを支援する活動に	募金運動推進経費 30,337千円 運動資材作成や広報活動、審査会開催、事務局の運営費、全国的に運動を展開するための中央共同募金会分担金などに	大規模災害に備えた積立金 4,838千円 募金総額の3%を上限に積立て、大規模災害が発生した場合、全国から駆け付けるボランティアの活動費や被災した福祉施設の破損復旧などに
地域歳末たすけあい助成 21,345千円 在宅で暮らす高齢者や障がいのある方への給食サービスやお見舞い、地域が主体となって行う、いきいきサロンやふれあい会食会などの地域ふれあい交流などに	NHK歳末たすけあい助成 9,071千円 福祉施設が行う年末年始のふれあい行事、障がいのある方々が就労するための備品整備など地域福祉課題を解決する事業などに	つながりをたやさない社会づくり活動助成 2,592千円 生活困窮者支援やいじめ、ひきこもり対策等に



支える人も 支える募金



じぶんの町に、困っている人がいる。その人たちが一番必要としているもの、それは人のチカラです。手をとって、支えてくれる人の存在です。では、その活動資金は、どうしましょう。赤い羽根共同募金は、困っている人を「支える人を支える募金」。それが、赤い羽根の役割なのです。

赤い羽根共同募金

社会福祉法人 **富山県共同募金会**

令和6年度の目標額 **181,513,000円** 共同募金への寄付には税制上の特典があります。

内訳 ■一般募金 147,513,000円(福祉施設や団体の事業に27,700,000円/地域福祉推進事業に75,569,000円/災害時に備えた積立に5,287,000円/運動推進経費 38,957,000円) ■NHK歳末たすけあい募金 13,000,000円 ■地域歳末たすけあい募金 21,000,000円

会社など法人の寄付金は、全額損金算入できます。個人の寄付金は、所得税の寄付金控除および住民税の寄付金控除が受けられます。詳しくは本会までお問い合わせください。



お問い合わせはこちら または、あなたのまちの共同募金委員会へ
社会福祉法人 富山県共同募金会 〒930-0094 富山市安住町5番21号
 info@akaihane-toyama.or.jp Tel 076-431-9800 Fax 076-432-6551

MAKE TOYAMA STYLE BEYOND CORONA. WITH US



笑顔とともに、たくさんの「ありがとう」の声が届いています。



●●●● 寄付者の方々へのメッセージ(令和5年度事業より) ●●●●

共同募金の助成を受けた福祉施設や団体から、たくさんの感謝の声が寄せられていますので、その一部をご紹介します。



身体障害者の仲間作りと生きがいのために 「障害者作品作りと発表会」

(富山市 身体障害者協会)



お皿やカップなどの陶芸制作や干支の土人形絵付けを行い、富山市身体障害者作品展での発表を通じて、仲間づくり活動へと輪を広げていくことが出来ました。この事業は障害を持っても何ができるかを考え、行動する大切なきっかけとなっています。ありがとうございました。



ひきこもり家族の交流活動のために 「ひきこもり当事者の自立支援事業」

(高岡市 高岡つくしの会)



ひきこもり当事者、その家族及び関係者が集まる場所を月3回設け、自由参加のもと話し合い励まし合いが生まれ穏やかな日常があります。当会は活動結果が見えにくく時間がかかりますが、大切なのは継続です。温かい支援のおかげで長く続いています。ありがとうございました。



孤食や孤立の回避につなげるために 「魚津あったか食堂運営事業」

(魚津市 魚津あったか食堂運営委員会)



「あったかいごはんをみんなで食べよう」を理念に、生活困窮者への配達や、児童発達支援センターの親子へ温かい手作りのお弁当を届ける活動を行い、喜ばれています。地域の方々から、たくさんの食材の寄附もいただき、活動を続けるたびに人とのつながりややりがいが増し、活動への励みになっています。



安心安全な食について学ぶために 「家族のための体に優しい自然栽培の野菜教室」

(氷見市 とやま食育ラボ)



自然栽培農家さんに協力して頂き、肥料も農薬も使わない環境や体に優しい野菜の作り方を学びました。今問題になっている食料自給率低下や環境破壊、また災害時の食料などに少しでも役立てればと思っています。皆様の温かいご支援ありがとうございました。



高齢者が元気の街づくりのために 「高齢者作品展」

(滑川市 悠友クラブ滑川)



滑川市の高齢者が、絵画や写真、編み物といった趣味の教室へ参加し、日々作品制作に励んでいます。その成果を市内の高齢者施設や保育園からの作品と併せて一堂に展示し、作品展を開催しました。皆様の温かいご支援のお陰で開催できました。ありがとうございました。



社会復帰に励む人たちの支援のために 「更生保護事業」

(黒部市 更生保護女性会)



更生保護施設「富山養得園」への給食活動を年4回行いました。黒部の名水と美味しい黒部米を使い、愛情いっぱいのお弁当を作って届けました。今後も家庭の味に思いを寄せてもらい、立ち直ってもらうために活動を続けていきます。ありがとうございました。



居場所と活動体験・子育て支援のために 「子育て支援・見守り活動事業」

(砺波市 高波子育てボランティアグループ)



未就学児と保護者を対象にした子育て広場や小学生の夏休み期間・放課後の居場所づくりを実施しました。芋ほりや餅つき大会などの企画を通して地域住民と子ども達の交流を深めるなど、地域に根差した子育て支援が出来ました。ご支援ありがとうございました。



視覚障害者の引きこもり予防のために 「スポーツ・野外活動による社会参加促進事業」

(小矢部市 視覚障害者協会「あかつきの会」)



助成金により、サウンドテーブルテニスや野外活動を実施しています。これらの活動が外出の機会や交流の場となり、心身ともに充実した日々を送っています。今後もこの生活を維持できるよう努力していきたいと願っています。ありがとうございました。



子ども達の生きる力を育てるために 「こどもの森」

(南砺市 子育て支援 寺子クラブ)



農体験や自然体験を通して、先人の知恵や自然の恩恵を感じ、たくさんの発見や学びの機会を持つことが出来ました。これからも、子ども達には自然との関わりの中で、感じる力・生きる力を育ててほしいと願っています。この活動を支えて下さっている皆様に心から感謝します。



犯罪や非行のない地域社会のために 「第73回社会を明るくする運動推進事業」

(射水市 射水保護司会)



毎年共同募金のご支援をいただき、中学生生活体験発表大会、小中学生の作品コンテスト(作文・ポスター・標語)を実施することが出来、作品集を配布しています。日ごろの体験から、犯罪や非行のない地域づくりについて考えてもらう機会にしています。



通いの場づくりのために 「ふれあいいきいきサロン事業」

(舟橋村 舟橋村社会福祉協議会)



助成金により、笑いヨガなど各サロンの要望に合わせた講師を呼ぶことができ、参加者の皆さんに楽しんでもらえました。閉じこもりがちの高齢者が外に出るきっかけになり、貴重な交流の機会になっています。温かいご支援をありがとうございました。



地域交流と地域貢献のために 「地域交流事業 パン作り体験」

(上市町 ワークハウス劔)



町内の小学生に呼びかけ、事業所でパン作り体験を行いました。利用者も地域の小学生との交流を楽しみにしていました。パンが焼ける間、手話教室やアイマスク体験を行い、障害者への理解と事業所活動を知って頂く機会として、地域交流を深められたと思います。



地域のつながりを深めるために 「地域のささえあいと交流で地域力アップ事業」

(立山町 下段地区社会福祉協議会)



子どもから大人まで、支え合いができる顔見知りの関係づくりを目指して、地域住民同士の交流機会を設けています。令和5年度はeスポーツを体験し、楽しみながら交流を深めました。これからも活動を継続し、地域力アップの目標に取り組んでいきます。



地域の皆様の身近な相談相手となる為に 「民生委員児童委員研修事業」

(入善町 民生委員児童委員協議会)



民生委員・児童委員の資質向上や役割の周知のため、各種研修会への積極的な参加や、学校との懇談会に取り組むことが出来ました。今後も、住民の皆様が安心して暮らせる地域づくりを目指して、福祉活動に取り組めます。温かいご支援をありがとうございました。



相互理解を深めるために 「ふれあい交流事業」

(朝日町 朝日町社会福祉協議会)



地域で生活している障がい者の方や町民の方、支援者などが集まり、みんなで簡単に楽しめるパラスポーツで交流を深めています。障がいの理解や外出のきっかけとなっています。

約7割が、あなたの町に届いています。

募金の約7割は、あなたの町を良くするために使われています。

残りの約3割は市町村を越えた広域での活動や災害時の備えなどに使われています。

